

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 授業は意欲的に取り組む生徒が少ない。また、忘れ物も多く、提出物を出さない生徒がいる。
- (2) 学習した知識や習得した技能を実生活で使う機会が少ないため、生活をより良くするために工夫したり、創造したりする力を養う課題の設定が必要である。
- (3) 知識を得ることだけを重要視するのではなく、実生活でどのように生かせるのかを考えさせる授業展開が必要である。

2 改善の計画

- (1) 実生活で困ったりしていることなどを導入で取り扱い、自分事として授業に取り組めるようにする。
- (2) ワークシートやテキストを授業終了後回収し、評価を記入する。そのワークシートを使い授業最初に補足説明をしてから次の授業につなげていく。
- (3) ICT を活用し、視覚化することで理解を深めさせ、制作意欲を高める。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 調べ学習や、作品作りを通して、やり遂げる達成感を味わわせ、自己肯定感を高められるようにする。
- (2) グループワークを増やし協調性を高められるようにする。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを実施し、変容を見る。
- (2) ワークシートや作品を含む、授業内での生徒の取り組みを観察する。